

「大連の東北特鋼、ベアリング鋼材が日本の JIS 規格に合格」

趙 万利

東北特殊鋼集団有限責任公司（以下、東北特鋼）が生産するベアリング鋼材が、初めて JIS 認証審査に合格し、日本産業標準化認証を取得したことが大連で話題となっています。JIS マーク表示制度の製品認証を行う認証機関である一般財団法人日本品質保証機構（JQA）を通じて取得したもので、これで東北特鋼が高い基準や要求に従ってベアリング鋼材を生産する能力を持っていることを証明することができました。また、日本に製品を輸出するライセンスを取得することで製品の市場競争力を大きく高めたこととなります。

東北特鋼は、大連と撫順の2カ所に生産拠点を持っており、2017年に中国最大の民間鉄鋼企業である沙鋼集団の実質的支配者が同社の支配株主となり、2018年10月に正式に登録されました。

同社は、高品質・高付加価値の特殊鋼（※）の生産・運営を主な事業とし、国内外向けの高精度特殊鋼製品の開発・研究能力に定評があり、中国のハイテク分野が求める高級特殊鋼材の研究開発・生産・供給の主要拠点となっています。そして、宇宙実験室の開発、原子力発電事業や風力発電事業、高速鉄道建設、石油探掘等多数のプロジェクトに新しい特殊鋼材を提供しています。

また、国内外の多くの大企業と協力関係を結び、80以上の製品が国際的に有名な企業や産業協会の製品認証に合格し、アメリカ、ドイツ、イタリア、日本、韓国、インド、オーストラリア、シンガポールなど36カ国・地域の多くの市場に供給しています。



【東北特鋼生産工場】

今回認証された JIS は日本産業規格（英: Japanese Industrial Standards）であり、日本の国家規格の中で最も重要で権威のある認証規格です。JIS（ジス）または JIS 規格と通称で呼ばれています。今年6月から7月にかけて JQA の審査チームが、東北特鋼に対して、実験室資格審査、工場品質管理審査、製品試験

審査の3段階の審査を実施しました。認証は主に JIS G4805 規格に基づき、大型材、小型材、線材、銀光材、鋼線の5つの加工ラインを含むベアリング鋼材の製錬システムおよび加工システムの現地審査を行いました。審査チームは、会社の適格な検査能力を確認した上で、機能オフィスと直属部門、生産部門、補助部門など、会社の品質マネジメントシステム運用の19の主要プロセスについて全面的な監査を実施しました。品質検査担当者の資格、試験担当者の資格、サンプル検査、データ記録などの全プロセスが入念に監査されました。



【東北特鋼大連本社】

審査後、東北特鋼は内部と外部の管理プロセスが完備され、定期的な監査と評価、自己点検と自己改善を行うことができる会社であること、また、経営理念と結合し、精力的にコストダウンと効率化、品種開発などの仕事を推進していること、さらに、全体の生産組織と品質管理プロセスが有効にコントロールされ、基本的な品質保証能力を備えており、適格なベアリング鋼材を生産していることが公表されました。

今回の監査では不適合の指摘はなく、監査チームは、東北特鋼が認証に合格し、JIS 規格の生産資格を取得することを推奨するように評価しました。今回の JIS 認証の成功により、東北特鋼は今後、日本とのビジネス貿易をより緊密にし、同時に大連と日本の経済活動をより拡大することが期待されています。

※特殊鋼：機械、自動車、軍事、化学、家電、船舶、輸送、鉄道、新興産業など、中国では国民経済の大部分の産業で使用される最も重要な鋼種

※画像：百度から

【参照：以下中国語記事】

[東北特鋼のベアリング鋼材が日本への輸出が可能となる](#)

[東北特殊鋼集団有限責任公司](#)